

松下幸之助経営塾

[第十一期] 2015年7月開講

特別講師



佐久間 昇二 (さくま・しょうじ) **ぴあ株式会社 社外取締役**

1931年、新潟県生まれ。54年、大阪市立大学経済学部を卒業。56年、同大学院経営学研究科修士課程修了後、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。83年、同社取締役・経営企画室長。86年、同社専務取締役。87年、同社取締役副社長。93年より株式会社WOWOW(当時は日本衛星放送)代表取締役社長に就任。以来、徹底したコスト管理と営業強化によって、倒産すら危ぶまれていた同社を再建に導く。社員に対しては、逆境こそ攻めの好機であると説く。同社の入社案内(97年)は、「ふつうの人生を送りたかったら、WOWOWだけはやめておきなさい」の言葉で始まり「それでもWOWOWでやりたい、キミを待つ」で終わっている。2001年より、同社代表取締役会長を務め、06年6月より、取締役相談役。08年6月より、ぴあ株式会社社外取締役(現任)。



渡邊 幸義 (わたなべ・ゆきよし) **アイエスエフネットグループ 代表**

1963年、静岡県生まれ。86年、武蔵工業大学(現・東京都市大学)機械工学科を卒業。同年、日本デジタルイクイップメント株式会社(現・日本ヒューレット・パカード)入社。株式会社エヌ・アンド・アイ・システムズ代表取締役副社長を経て、2000年、株式会社アイエスエフネットを設立し、代表取締役社長に就任。「雇用の創造」をグループの大義に標榜し、履歴書の過去にこだわらず意欲を基準に社員を採用することを実践。就労困難者への雇用にも積極的に取り組みながら利益を出し続けている。著書に、『未来ノート』で道は開ける！(2008年・マガジンハウス)、『社員みんながやさしくなった——障がい者が入社してくれて変わったこと』(2010年・かんき出版)、『雇用創造革命——ひきこもりも知的障がいも戦力にする執念の経営』(2012年・ダイヤモンド社)、『会社は家族、社長は親』(坂本光司氏との共著、2011年・PHP研究所)などがある。



大坂 靖彦 (おおさか・やすひこ) **非営利株式会社ビッグ・エスインターナショナル 代表取締役**

1944年、浜松市生まれ。上智大学在学中に、1年間かけてドイツを中心に世界二十数カ国をヒッチハイクで無銭旅行。68年、同大学を卒業後、松下電器産業株式会社入社、海外研修生としてドイツに赴任。72年、同社を退社し、家業の家電店・大坂屋(現在の株式会社ビッグ・エス)に入社、年商7,000万円から、300億円を超える企業に成長させる。99年、(株)ビッグ・エス売上100億円達成記念として社会貢献活動をスタート。2010年、経営者向けの塾「大坂塾」第I期スタート。11年、ドイツ連邦共和国功労勲章十字小綬章を受章。同年、上智大学、また13年には香川大学の非常勤講師に就任。13年、「平成25年度外務大臣表彰」受賞。現在はドイツ語スピーチコンテスト/日本語スピーチコンテストをはじめ、日独の国際交流活動を行うかたわら、「大坂塾」で全国368社の企業代表者に指導を行う。



横田 英毅 (よこた・ひでき) ネットヨタ南国株式会社 取締役相談役

1943年生まれ。66年、日本大学理工学部卒業後、カリフォルニアシティカレッジ留学(～69年6月)。69年より西山グループ系列の宇治電化学工業株式会社にて8年間、77年より同グループ系列四国車体工業株式会社にて3年間勤務。80年、同グループ系列トヨタビスタ高知株式会社(現・ネットヨタ南国株式会社)発足と同時に副社長、87年に同社代表取締役社長に就任。2010年より同社取締役相談役。ネットヨタ南国(株)では、経営トップとして同社を設立以来10年間、経営における重要テーマと考えた「人材」の問題に取り組むべく、自ら採用担当として現在の経営幹部の採用実務に携わった。以降、高知県産業界の人材にまつわる問題解決にあたるべく、「土佐経済同友会(2000～04年)」「高知県パワーカンパニー会議」「高知県経営品質協議会」などの代表幹事、高知県教育委員会が主導する「土佐の教育改革」委員などを務めながら「人づくり」に関するさまざまな提言を行なっている。また、ネットヨタ南国(株)は、既成の自動車ディーラーのビジネスモデルを大きく覆す斬新な事業運営で注目を集め、近年では日本全国のトヨタ販売会社(約300社)の中でお客様満足度ナンバーワンを連続達成。2002年には日本経営品質賞(中小規模部門)を受賞するなど、さらなる進化に向かってチャレンジを続けている。



小嶋 淳司 (こじま・あつし) がんこフードサービス株式会社 代表取締役会長

1935年、和歌山県生まれ。同志社大学経済学部卒業後、大阪榮寿司店にて1年間見習修行。63年、大阪十三にて4坪半の寿司店を創業。2年後に120席の大型寿司店を開店(現在の十三寿司店)。69年、法人設立。2005年より、現職。がんこフードサービス株式会社は現在、関西圏、関東圏を中心に、寿司、和食、炉ばた料理、とんかつ、回転寿司、自家製がんこ豆腐直売店等の直営店95店舗を展開中。また江戸時代より続く庄屋と庭園を生かした平野の『平野郷屋敷』や、京都高瀬川を開削した京の豪商「角倉了以」の別邸跡で高瀬川源流の『高瀬川二条苑』など、貴重な文化的遺産を生かした和食店を展開し話題となる。(社)関西経済同友会代表幹事、(社)関西経済連合会理事、(社)日本フードサービス協会会長、大阪商工会議所副会頭(在任中)などを務め、関西経済界の重鎮として知られる。著書に、『儲かってまっか! がんこ流人育て心得帖』(1995年・日経BP社)。



岩井 虔 (いわい・けん) 株式会社PHP研究所 客員

1936年、満州ハルピン生まれ。千葉県、徳島県で育つ。58年、京都大学教育学部卒業のち、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。61年、株式会社PHP研究所へ出向し、研究、編集、国際、研修部門を担当する。92年、同研究所専務取締役・研修局長を経て、97年に退任。同研究所顧問を経て、2009年より、現職。PHP研究所の所長であった松下幸之助に、28年間直接薫陶を受けつつ職務を担当。特にここ三十数年は、PHPゼミナールなど、主として企業人のための研修、講演に携わっている。著書に、『そう考えると楽ですね——松下幸之助との日々』(2006年・PHP研究所)。